

現代②「平成・令和時代」

新たな時代の日本と世界 C

🕒 7分

1. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本は第二次世界大戦に国の総力をつぎこみ、多くを失った。しかし、あ1950年代中ごろには、ほぼ戦前の経済水準まで復興、さらに、い経済成長率が10%をこえるような成長を続けた。成長のかけで、人口や産業が都市に集中し、過疎・過密やう公害などの問題も発生した。経済大国となった日本は、えアジア諸国との協力関係を深め、お国際社会の一員としての地位を確かなものにした。

(1) 下線あについて、1950年におこった朝鮮戦争で日本の経済復興が早まった理由を簡単に答えなさい。

[1]

(2) 下線いについて、このころ2つの大きな政党によって、政治では55年体制と呼ばれる状態が続いた。その1つの政党の組み合わせとして最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自由民主党と日本社会党 イ 自由民主党と民主党
ウ 民主党と日本共産党 エ 日本社会党と日本共産党

[2]

(3) 下線うについて、水俣病、新潟水俣病、四日市ぜんそくとともに四大公害病の1つに数えられる公害病は何か。

[3]

(4) 下線えについて、次のできごとをおこった順に左から並べ、記号で答えなさい。

- ア 日本と中国の国交が正常化する。
イ 日本と大韓民国とが日韓基本条約を結ぶ。
ウ 日本と中華人民共和国とが日中平和友好条約を結ぶ。

→
→

[4]

(5) 下線おについて述べた文として不適當なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 1970～80年代に、日本の自動車輸出や農産物輸入をめぐって日米貿易摩擦がおこった。
イ 1970年代には、東西対立がゆるみ、デタントと呼ばれる状態が続いた。
ウ 2001年にアメリカ同時多発テロがおこり、アメリカは2003年にイラクを攻撃した。
エ 2002年に、日本の小泉純一郎首相は北朝鮮を訪問し、北朝鮮を朝鮮半島でただ1つの正式な政府として認めた。

[5]